

## 活動報告

- 平成28年12月25日 平成26年度香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会の開催

「海」、「文化・観光・歴史」、「医療」に関する研究者から次の講演をいただいた。

- ・角道 弘文（香川大学工学部 教授）  
『富栄養化の著しい貯水池における水圏環境技術の開発』
- ・東江 栄（香川大学農学部 教授）  
『水質改善基質として利用された植物の多面的価値について』
- ・原 量宏（香川大学瀬戸内圏研究センター）  
『K-MIX、K-MIX+の医療ITネットワーク基盤を利活用した臨床研究—香川県を臨床研究の先進地域へ—』
- ・南野 哲男（香川大学医学部 教授）  
『香川県の心原性脳梗塞をゼロにするプロジェクト』
- ・金 徳謙（香川大学経済学部 教授）  
『空間分析でみる瀬戸芸の観光効果』
- ・富川 久美子 氏（広島修道大学商学部 教授）  
『ヨーロッパのリゾート島』
- ・多田 邦尚（香川大学農学部 教授）  
『瀬戸内海の環境の現状と問題点』
- ・矢持 進 氏（大阪市立大学 名誉教授）  
『大阪湾東部沿岸域に造成された塩性湿地の環境動態』

- 平成29年3月1日 平成28年度香川大学瀬戸内圏研究センター特別シンポジウムの開催

平成28～29年にわたる研究成果について、広く一般の方へ紹介した。

- ・金 徳謙（香川大学経済学部 教授）  
『地域資源の活用と瀬戸内国際芸術祭』
- ・末永 慶寛（香川大学工学部 教授）  
『植生浮体を用いた水質改善と魚類残渣の有効利用による環境改善』
- ・多田 邦尚（香川大学瀬戸内圏研究センター センター長）  
『浅海域の低次生物生産過程と栄養塩循環』
- ・原 量宏（香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授）  
『香川県で開発された周産期管理システム、モバイルCTGのグローバル展開への道』

- 平成30年1月16日 平成26年度香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会の開催

「海」、「文化・観光・歴史」、「医療」に関する研究者から次の講演をいただいた。

- 島崎 義弘 氏（愛媛県社会福祉士会 監事）  
『過疎地における地域福祉活動について』
- 小野 正人 氏（株式会社かもめや 代表取締役）  
『遠隔医療におけるドローンの活用』
- 戸田 龍樹 氏（創価大学 大学院工学研究科長 教授）  
『長崎県五島列島における藻場修復事業—海藻の成長と栄養塩—』

学術講演会とシンポジウムは、HPの「瀬戸内圏研究活動報告（講演会等）」に講演内容について掲載している。